

教材事例書式

教材教具名 ジュースボウリング	教科(遊び)	
-----------------	----------	--

教材教具写真



肢体不自由児も活動がしやすいようにひも付き。このひもをひっぱるとピンが回転する。

鈴入り。ピンが回転すると音が鳴る。

教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

文化祭における店出しで、ゲームの面白さを味わう。

2 発達段階

ボールや球をころがす、投げる、蹴るなどいろいろなやり方で軸につけたジュースのピンを回転させ、ボウリングが楽しめる。

3 使い方

肢体不自由児の児童は、軸にひもを一巻きするという支援を行うだけで、ひもを自分でひっぱってジュースのピンを回転させることが可能となる。

軸は、防球ネットを使って設置すると、児童の実態に合わせて高さの調節が可能となる。軸2連での発展遊びも楽しめる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用するため)

軸にジュースの空きボトルを突き刺していることで、球が当たるとクルクル回転する遊びを児童は楽しむことができる。

ひもをつけることで、肢体不自由の児童も自分でひっぱって楽しめるのがよい。命名は児童。ジュースの空きボトルに切ったりちぎったりして児童が飾りつけたところもゲー!! 回転するとき鈴が鳴るのも興味を引きつけやすい。